

39期生（令和2年4月入学） 授業内容計画

教科名【 栄養学総論 】

教員名【 奥谷 香(実務経験のある教員(元保健所勤務栄養士))】

講義No.	授 業 内 容	
	大 分 類	内 容
1	栄養の概念	オリエンテーション 栄養の定義、栄養素の種類と働き（三大・五大栄養素） 栄養学の歴史
2	食物の摂取 消化・吸収と体内の動態 その1	食物の摂取（日内リズムと栄養補給、夜食・欠食、摂取量の調整） 消化器系の構造と機能（食物の消化、消化器系の構造と機能）
3	消化・吸収と体内の動態 その2	管腔内消化と調整、膜消化 消化管ホルモンによる調整 受動輸送と能動輸送
4	炭水化物の栄養 その1	糖質の概要と分類 糖質の消化・吸収
5	炭水化物の栄養 その2	エネルギー源としての作用 血糖とその調節（インスリンの作用・血糖曲線） 糖質の体内代謝、他の栄養素との関係
6	たんぱく質の栄養 その1	たんぱく質の構造と機能、アミノ酸の種類 たんぱく質の消化・吸収
7	たんぱく質の栄養 その2	たんぱく質・アミノ酸の体内代謝 食後・食間の代謝、臓器間輸送 量と質の評価（生物的・化学的評価） 他の栄養素との関係
8	脂質の栄養 その1	脂質の種類とはたらき （中性脂肪、脂肪酸、リン脂質、コレステロール） 脂肪酸の分類、脂肪酸と中性脂肪の関係
9	脂質の栄養 その2	脂質の消化・吸収 脂質の臓器間輸送、体内代謝 他の栄養素との関係
10	ビタミンの栄養	ビタミンの構造と機能（生理作用、欠乏症、過剰症） 栄養学的機能、他の栄養素との関係
11	ミネラルの栄養	ミネラルの構造と機能（生理作用、欠乏症、過剰症） 硬組織とミネラル、生体機能の調節機構 他の栄養素との関係
12	水・電解質の栄養学的意義	生体内の水、水の出納、脱水・浮腫 電解質代謝と栄養
13	エネルギー代謝	エネルギー代謝の概念、エネルギーの消費量 臓器別エネルギー代謝 エネルギー代謝の測定法
14	栄養学総論 まとめ	授業のまとめと質疑応答
15	学期末試験	

教科書名【 栄養科学イラストレイテッド 基礎栄養学 田地陽一著 羊土社 】

単位履修の方法と達成度の測定方法

授業の出欠と期末試験にて判定

・授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。

・S・A・B・C・Dで判定（Dは不合格）

（総合獲得点数 S：90点以上 A：80～89点 B：70～79点 C：60～69 D：59点以下※不合格）

※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。

8期生（平成31年4月入学） 授業内容計画

教科名【 栄養学各論 】

教員名【 奥谷 香(実務経験のある教員(元保健所勤務栄養士))】

講義No.	授 業 内 容	
	大 分 類	内 容
1	栄養学各論とは（概要） 遺伝形成と栄養の相互作用	ライフステージにおける栄養アセスメント 体の設計図であるDNA、遺伝子、ゲノム
2	日本人の食事摂取基準（2015年版） その1	意義、総論（目的、対象、指定指標） 策定の基本的事項
3	日本人の食事摂取基準（2015年版） その2	策定の基本的留意事項 活用の基礎理論、活用の各論
4	成長、発達、加齢	成長、発達、加齢の概念 身体的、精神的変化と栄養
5	妊娠期、授乳期 その1	生理的特徴（妊娠、胎児付属物、胎児の成長、母体の生理的変化他）
6	妊娠期、授乳期 その2	栄養アセスメントと栄養ケア（妊娠期、授乳期） 妊娠期、授乳期の問題点と対策
7	新生児期、乳児期 その1	生理的特徴（体水分量、未熟性、発育、摂食・消化管機能の発達他）
8	新生児期、乳児期 その2	栄養アセスメントと栄養ケア（新生児期、乳児期）
9	成長期（幼児期、学童期、思春期）	生理的特徴（身体的、精神的機能発達） 疾患とその予防、食習慣、生活習慣 栄養アセスメントと栄養ケア
10	成人期	生理的特徴（生理的変化と生活習慣の変化） 栄養アセスメントと栄養ケア （生活習慣病の予防他）
11	高齢期	生理的特徴（各機能の変化他） 栄養アセスメントと栄養ケア （低栄養、脱水と水分補給、転倒、認知症他）
12	運動・スポーツと栄養	生理的特徴とエネルギー代謝 運動と栄養ケア （必要なエネルギー、栄養素他）
13	環境と栄養	ストレスと栄養ケア 特殊環境と栄養ケア
14	栄養学各論のまとめ	ライフステージにおける栄養ケアの課題 質疑応答
15	学期末試験	

教科書名【 応用栄養学 羊土社 】

単位履修の方法と達成度の測定方法

授業の出欠と期末試験にて判定

- ・ 授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。
- ・ S・A・B・C・Dで判定（Dは不合格）
（総合獲得点数 S：90点以上 A：80～89点 B：70～79点 C：60～69 D：59点以下※不合格）
- ※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。